

本表の略記法について

Composition リソースに出現する section 要素は以下のような構造をとる。

nn	section				0..1	BackboneElement
nn.1		title			0..1	string
nn.2		code			0..1	CodeableConcept
nn.2.1			coding		0..1	Coding
nn.2.1.1				system	0..1	uri
nn.2.1.2				code	0..1	code
nn.2.1.3				display	0..1	string
nn.3		text			0..1	Narrative
nn.3.1			status		1..1	code
nn.3.2			div		1..1	xhtml
nn.4		entry			0..*	Reference(Any)
nn.4.1			reference		1..1	string
nn.4.2		emptyReason			0..1	CodeableConcept

しかし、表を見やすくするため、この文書では、これを次のように 1 行で省略表記する。

多重度の記載は、1 段目に section 要素自体の多重度、2 段目に参照リソースの多重度(上表 nn.4 の sectoin.entry の多重度)を転記している。s

n	section				0..* 1..*	参照リソース名	“〇〇情報セクション”	簡単な説明
---	---------	--	--	--	--------------	---------	-------------	-------

ひとつの section に複数の異なるリソースへの参照を entry にリストで格納する場合には、以下のように複数の entry 行を明記する記載方法をとることもある。

n	section				0..*		“〇〇情報セクション”	簡単な説明
		entry			1..*	参照リソース名 A		
n		entry			1..1	参照リソース名 B		
n		entry			1..*	参照リソース名 C		

なお、section をネスト(入れ子)にする場合の親の section で参照リソースがない(entry がない)場合には、上記の参照リソース名をーとこの表に記述し、その不存在理由として sectoin.emptyReason.coding.code に” unavailable”を設定する。

また、各 section 要素における entry 以外の要素の記述仕様については、表 2 の後に掲載の「表_Compositino_section の情報構造」を参照すること。

表 Composition リソース 文書構成情報(診療情報提供書)

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
resourceType						“Composition”	Composition リソースであることを示す
extension				1..1	Extension		文書バージョンを表す拡張「composition-clinicaldocument-versionNumber」。
	url			1..1	uri	“http://hl7.org/fhir/StructureDefinition/composition-clinicaldocument-versionNumber”	拡張を識別する URL。固定値。
	valueString			1..1	string	“1.0”	文書のバージョン番号を表す文字列。値は例示。
identifier				1..1	Identifier		この文書の文書 ID。
	system			1..1	uri	固定値	文書 ID の名前空間を表す URI。固定値。
	value			1..1	string	“1311234567-2020-00123456”	文書 ID。値は例示。付番方法は本文を参照。
status				1..1	code	“final”	この文書のステータス。最終版が登録される段階では、“final” でなければならない。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
type				1..1	CodeableConcept		文書区分コード
	coding			1..1	Coding		
		system		1..1	uri	"http://jpfhir.jp/fhir/CodeSystem/DocumentType"	文書区分コードのコード体系を識別する URI。固定値
		code		1..1	code	"57133-1"	文書区分コード。"57133-1:紹介状"を指定。固定値。
		display		0..1	string	"紹介状"	文書区分コードの表示名。
category				1..1	CodeableConcept		文書カテゴリ
	coding			1..1	Coding		
		system		1..1	uri	"http://jpfhir.jp/fhir/eReferral/CodeSystem/ReferralCategory"	文書カテゴリコードのコード体系を識別する URI。固定値。
		code		1..1	code	"00"	文書カテゴリコード。 "00:診療情報提供書"
		display		0..1	string	"診療情報提供書"	コードの表示名
subject				1..1	Reference (Patient)		患者情報を表す Patient リソースへの参照。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	reference			1..1	string	"urn:uuid:11f0a9a6-a91d-3aef-fc4e-069995b89c4f"	Patient リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
encounter				0..1	Reference(Encounter)		この診療情報提供書を作成する元となった入院情報を表す Encounter リソースへの参照。 表 2 に出現の Encounter と同一インスタンスを参照する。
	reference			1..1	string	"urn:uuid:12f0a9a6-a91d-8aef-d14e-069795b89c9f"	Encounter リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
date				1..1	dateTime	"2020-08-21T12:28:21+09:00"	このリソースを作成または最後に編集した日時。ISO8601 に準拠し、秒の精度まで記録し、タイムゾーンも付記する。午前 0 時を"24:00"と記録することはできないため"00:00"と記録すること。
author				2..2	Reference (Practitioner Organization)		文書作成責任者を表す Practitioner リソースへの参照、および 文書作成機関を表す Organization リソースへの参照の 2 つの Reference を繰り返す。
	reference			1..1	string	"urn:uuid:7f60d206-66c5-4998-931e-86bf2b2d0bdc"	Practitioner リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
	reference			1..1	string	"urn:uuid:179f9f7f-e546-04c2-6888-a9e0b24e5720"	Organization リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
title				1..1	string	"診療情報提供書"	この文書の(人が読める)タイトル。固定値。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
custodian				1..1	Reference(Organization)		文書の作成・修正を行い、文書の管理責任を持つ機関(Organization リソース)への参照。文書作成機関と同一の組織の場合、custodian 要素からは文書作成機関を表す Organization リソースへの参照となる。文書作成機関とは異なる組織である場合は、文書作成機関とは別の Organization リソースで表現し、custodian 要素からはその Organization リソースを参照する。
	reference			1..1	string	"urn:uuid:179f9f7f-e546-04c2-6888-a9e0b24e5720"	custodian に対応する Organization リソースの fullUrl 要素に指定される UUID を指定。値は例示。
event				1..1	BackboneElement		診療情報提供書の発行イベントの情報
	code			1..1	CodeableConcept		
		text		1..1	Coding	“診療情報提供書発行”	固定値。
	period			1..1	Period		
		start		1..1	dateTime	"2020-08-21"	診療情報提供書発行日。ISO8601 に準拠 yyyy-mm-dd 形式で記述する。
section				1..1		”紹介先情報セクション”	紹介先情報
	entry				Organization		紹介先医療機関

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	entry				Organization		紹介先診療科
	entry				Practitioner		紹介先医師
section				1..1		”紹介元情報セクション”	紹介元情報
					Organization		紹介元医療機関
					Organization		紹介元診療科
					Practitioner		紹介元医師
section				0..1 1..*	DocumentReference/Binary	“診療情報提供書叙述記録セクション”	<p>診療情報提供書全体がひとつの叙述記録でしか表現できない場合にここに記述し、他のセクションは省略することができる。他のセクションで構造的に記述する場合でも、全体をひとつの叙述記録としてこのセクションに記述してもよい。</p> <p>テキスト形式以外に PDF、スキャンした画像、WORD ファイル、エクセルファイルなどでもよい。</p> <p>ファイルへの参照でもよい。Binary リソースには、テキスト、HTML または XHTML での埋め込みリソースを想定している。</p> <p>サマリ文書本体への添付情報を付けたい場合には、“添付情報セクション”を用いる。</p> <p>なお、厚労省標準 CDA 規格で作成された XML ファイルをそのまま参照する場合には本セクションではなく、次の“診療情報提供書構造ファイル参照セクション”を用いる。</p>

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
section				0..1 1..1	DocumentReference	“診療情報提供書構造ファイル参照セクション”	診療情報提供書全体を記述した文書ファイルへの参照。 既存の厚労省標準 CDA 規格で作成された XML ファイルをそのまま参照したい場合、この要素を使用する。 他の場所に保存されている FHIR ドキュメントを参照する場合にもこの要素を用いる。 この要素が出現した場合、以降のセクションは、“添付情報セクション”を除き、省略する。
section				0..1	—	“診療情報提供書構造情報セクション”	診療情報提供書を FHIR リソースの組み合わせにより記述する場合にこのセクションを記述する。
	section			1..1	Encounter	“紹介目的セクション” “admissionDetailsSection”	紹介先に外来受診あるいは入院を意図した情報をその理由とともに記述する。
	section			1..*	Condition	“傷病名・主訴セクション” “admissionDiagnosesSection”	現在の傷病名や主訴を記述する。
	section			1..*	Condition	“現病歴セクション” “presentIllnessSection”	現在までの傷病名と経過を記述する。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
	section			1..*	Condition	“既往歴セクション” “pastIllnessSection”	過去の傷病名を記述する。
	section			1..*	AllergyIntolerance	“アレルギー・不耐性反応セクション” “allergiesIntoleranceSection”	アレルギー情報を記述する。
	section			1..*	FamilyMemberHistory	“家族歴セクション” “familyHistorySection”	家族歴を記述する。
	section			1..*	Observation	“身体所見セクション” “admissionPhysicalStatusSection”	現在の身体所見を記述する。
	section			1..*	Condition Observation	“感染症情報セクション” “infectiousDiseaseInformationSection”	感染症の保有状況、および検査結果を記述する。
	section			0..*	Observation	“社会歴・生活習慣セクション”	社会歴、生活歴を記述する。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
						“socialHistorySection“	
	section			0..*	Immunization	“予防接種歴セクション“ “immunizationSection“	予防接種情報を記述する。
	section			0..*	Procedure	“手術セクション“ “surgicalProcedureSection“	手術記録を記述する。
	section			0..*	Procedure	“輸血歴セクション“ “bloodInfusionProcedureSection“	輸血治療歴を記述する。
	section			0..*	Procedure	“処置セクション“ “treatmentProcedureSection“	処置治療歴を記述する。
	section			0..*	MedicationRequest Bundle(電子処方箋)	“投薬指示セクション“ “medicationSection“	現在の投薬状況を記録する。
	section			0..*	Observation ImageStudy DiagnosticRepo	“検査結果セクション“ “examsStudySection“	主要な検査結果、画像診断報告書、各種検査報告書を記述する。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
					rt Bundle (報告書)		
	section			1..*	ClinicalImpression	“臨床経過セクション” “clinicalCourseSection”	これまでの臨床経過を叙述的に記述する。
	section			0..*	CarePlan	“診療方針指示セクション” “clinicalInstructionSection”	現在の治療方針を記述する。
	section			0..*	DeviceUseStatement	“医療機器セクション” “medicalDeviceSection”	使用中の医療機器(デバイス)の情報を記述する。
	section			0..*	Consent	“事前指示セクション” “advanceDirectiveSection”	事前指示を(アドヴァンスディレクティブ)があれば記述する。
	section			0..*	ResearchSubject	“臨床研究参加セクション” “researchParticipationSection”	臨床研究への参加状況を記述する。
section				0..*	DocumentReference Binary	“添付情報セクション” “AttachmentSection”	添付情報があれば記述する。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	要素 Lv4	多重度	型	値	説明
section				0..*	Binary	”備考・連絡情報セクション”	備考情報があれば記述する。

表_Composition_section の情報構造

composition.section.(または composition.section.section.)の子要素のうち要素名が section でない要素を、下記表の「要素 Lv1」の位置に記載する。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
title			1..1	string	”入院時診断”	〇〇セクション名のうち〇〇の部分文字列を設定する。
code			1..1	CodeableConcept		
	coding		1..1	Coding		
		system	1..1	uri	” http://jpfhir.jp/fhir/eDischargeSummary/CodeSystem/eDischargeSummary_Section ”	診療情報提供書のセクションコードシステムの固定値。
		code	1..1	code	”02”など。	「表 2 サマリー本体(ボディー部)でのセクション構成」のセクションコード。
		display	1..1	string	”入院時診断”	コード表におけるセクションコードに対応する文字列。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
text			1..1	Narrative		このセクションに含まれるすべてのテキスト(叙述的記述)表現。
	status		1..1	code	"additional"	このセクションに含まれるすべての entry 要素による情報に加えて、それらで表現し尽くせていない情報も含めた完全な叙述表現であることを示す。
	div		1..1	xhtml		<p>xhtml 簡略形式に従った叙述記述データ。</p> <p>-FHIR 仕様書より-</p> <p>html 要素のコンテンツは、HTML 4.0 標準の第 7-11 章と第 15 章で説明されている基本的な html フォーマット要素、<a>要素 (name または href)、画像、および内部に含まれるスタイルシートのみを含む XHTML フラグメントです。XHTML コンテンツには、ヘッド、ボディ、外部スタイルシート参照、スクリプト、フォーム、ベース/リンク/ xlink、フレーム、iframe、およびオブジェクトを含めることはできません。空白以外のコンテンツが含まれている必要があります。</p> <p>--</p>
entry			0..*	Reference(Any)		<p>このセクションが含まれる情報リソースの参照のリスト。</p> <p>「表 2 サマリー本体(ボディー部)でのセクション構成」の FHIR リソース種別、多重度が適用される。</p> <p>セクションコード 300 の section には entry は出現しない。</p>
emptyReason			0..1	CodeableConcept		直前の entry 要素が出現しない場合には、この要素は必須で、なぜ entry 要素が出現しないを記述する。
	coding		1..1	Coding		
		system	1..1	uri	" http://terminology.hl7.org/	診療情報提供書のセクションコードシステムの固定値。

要素 Lv1	要素 Lv2	要素 Lv3	多重度	型	値	説明
					CodeSystem/list-empty-reason "	コード表: http://hl7.org/fhir/valueset-list-empty-reason.html を参照。
		code	1..1	code	"unavilable"など。	直前の entry 要素が出現しない場合、特に他の明示的な事由を示せない場合には、"unavailable"としておく。 セクションコード 300 の section には entry は出現しないので、この場合にも"unavailable"を設定すること。
section			0..1			section の下に section をネスト(階層化)する場合に使用する。 セクションコード 300 の section には表 2 に示すネストする section が必ず出現する。

以上